

2TGギヤトレンキット 組み付け説明書

特徴

1次側のタイミングチェーン及びチェーンテンショナーを廃止し、3枚のギヤ駆動に変更することでフリクションロスやバルブタイミングの安定性を大幅に向上することができ、パワーアップと高回転化が望めます。

組み付け順序

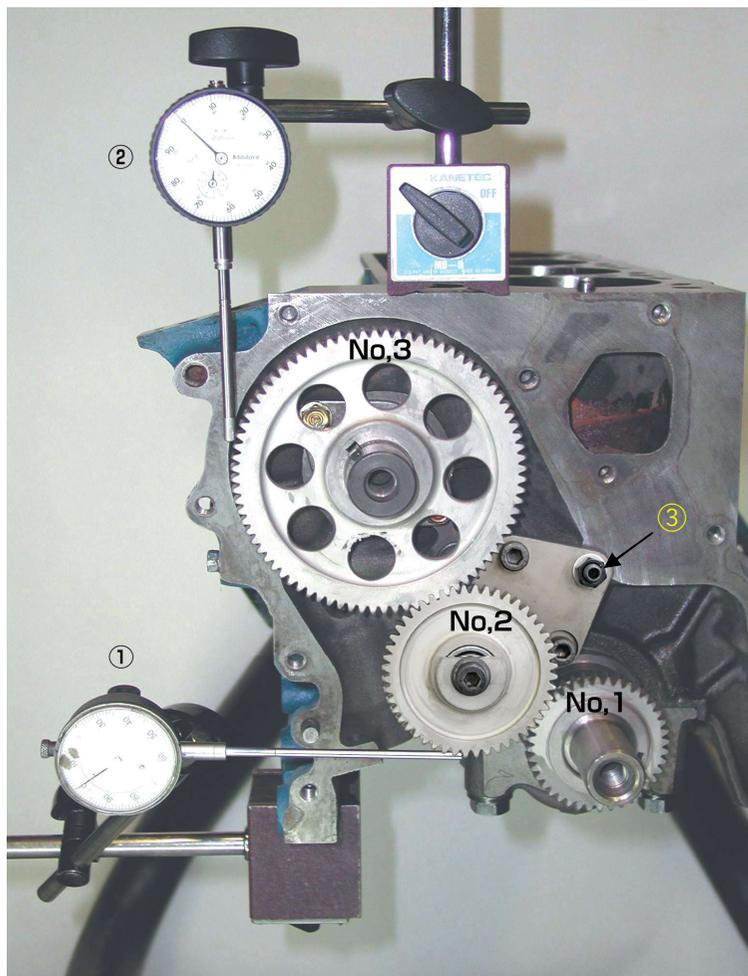
- 1、No,1及びNo,3ギヤを装着ください。
- 2、次にNo,2プレートを組み付けします。装着面に有害なバリ、カエリ等がある場合、オイルストーンにて面だしを行ってください。
- 3、図の③の所にネジをたてる加工が必要です。プレートとNo,2ギヤを2本の付属のボルトで仮に装着し下記の要領でおおよその所までバックラッシュ調整を行います。プレート位置が決定しましたら③のプレート穴からブロック側へケガキをいれます。
- 4、プレートを取り外してケガキセンターに7mmのドリルで先端深さ15mmの穴をあけます。
- 5、あけた穴にM8×P1,25のタップを曲がらないように垂直にネジを立ててください。タップでねじ切りが終わったらよく洗浄を行い付属のスタッドボルトを挿入。鋳物の巣穴等による水漏れを防止するためにネジ挿入部に液体パッキンを塗ってください。スタッドボルトは六角レンチを使い手締めで底突きまでしっかり締めこんでください。
- 6、再度プレートを装着してバックラッシュ調整を行います。調整が終わりましたらプレート固定ボルトとナットのネジ山にネジロックを塗って本締めを行ってください。（締め付けトルク 4 kg/m²）
- 7、No,2ギヤセンターの平ワッシャーは、オイルが入りやすいように切り欠きを上向きにしてください。（センターボルト締め付けトルク 4 kg/m²）

バックラッシュ調整

・ 各ダイヤルゲージを図のようにセットしてゼロに合わせます。No,3のギヤを左右に手で動かして各ダイヤルゲージの振れを読み取ります。（①ダイヤルゲージ0, 03～0, 06 ②ダイヤルゲージ0, 06～0, 12）測定は3ヶ所ぐら crank を回転させて場所を替えながら繰り返しバックラッシュの確認を行ってください。調整はNo,2ギヤのプレート取付け位置を微調整しながら行って下さい。クラックメタルやジャックシャフトメタルに摩擦が発生しているとバックラッシュが安定しない事がありますのでご注意ください。

▼ 本品はレース専用部品のため、一般公道での使用はできません。

本品に関するクレーム、事故、賠償等には一切応じられませんので予めご了承ください。



発売元：埼玉県八潮市緑町3-1-16

株式会社 亀有エンジンワークス

TEL048-998-2323 FAX048-997-9085